

令和7年度第1回鶴岡市廃棄物減量等推進審議会

日 時：令和7年8月20日（水）

午後2時から午後3時30分まで

場 所：鶴岡市ごみ焼却施設3階研修室

次 第

1. 開 会

2. 委嘱状交付

3. 委員紹介並びに事務局紹介

4. 会長選任

5. 会長挨拶

6. 議 事

（1）令和6年度鶴岡市一般廃棄物処理の実績について

（2）令和7年度鶴岡市一般廃棄物行政の事業執行について

（3）次期一般廃棄物処理基本計画の（骨子案）について

7. そ の 他

8. 閉 会

鶴岡市廃棄物減量等推進審議会委員名簿

(敬称略) 任期:R8.8.23まで

区 分	氏 名	所属団体職名	備考
学識経験者	佐 藤 司	鶴岡工業高等専門学校 教授	新規
	西 山 正 晃	山形大学農学部 准教授	新規
関係行政機関 の 職 員	田 中 利 正	山形県庄内総合支庁保健福祉環境部 環境課長	
住民組織等の 代 表 者	佐 藤 豊	鶴岡市コミュニティ組織協議会 第二コミュニティ振興会会長	
	後 藤 重 好	鶴岡市自治振興会連絡協議会 湯野浜地区自治振興会会長	
	大 沼 恒 司	藤島地区衛生組織連合会 会長	新規
	半 澤 み つ	藤島地域婦人会 会計	
	小 南 孝 子	羽黒町婦人会 会長	
	清 和 秀 輝	櫛引地区環境保全推進員協議会 会長	
	三 浦 寛 幸	朝日地域自治会連絡協議会 副会長	新規
	伊 藤 彦 市	温海地区衛生組織連合会 会長	新規
	佐 藤 やよ井	鶴岡市食生活改善推進協議会 会長	
関係商工業団体の 代 表 者	菊 地 陸	鶴岡商工会議所議員	
	加 藤 省 二	出羽商工会 副会長	
	尾 川 勝 則	鶴岡商店会連合会 会長	副会長
事 業 者	土 屋 清 光	一般社団法人鶴岡地区医師会 事務局長	
	竹 内 直 人	株式会社主婦の店鶴岡店 総務部長	
	土 田 光 恵	生活協同組合共立社組織部	
	佐 藤 航	湯野浜温泉観光協会会長	

区 分	氏 名	役 職 名
オブザーバー	本 間 純	三川町建設環境課課長

事 務 局

氏 名	役 職 名
佐 藤 玲 子	市民部長
本 間 克 秀	環境政策課長
工 藤 礼 子	藤島庁舎市民福祉課長
山 口 え み	羽黒庁舎市民福祉課長
齋 藤 芳	櫛引庁舎市民福祉課長
齋 藤 健 一	朝日庁舎地域づくり推進課長
剣 持 健 志	温海庁舎市民福祉課長
石 川 誠	環境政策課主幹
小野寺 保 則	環境政策課課長補佐
阿 部 真	環境政策課主査
長谷川 修	環境政策課主査
菅 原 利 博	環境政策課主査
富 樫 梓	環境政策課専門員
湯 田 雛 乃	環境政策課主事
元 木 友 麻	環境政策課主事

(1) 令和6年度一般廃棄物処理の事業実績について

鶴岡市一般廃棄物処理基本計画（改訂版）及び令和6年度一般廃棄物処理実施計画に基づき、ごみ発生抑制及び資源化の推進に取り組んだ。

鶴岡市一般廃棄物処理基本計画（改訂版）の目標値

	令和7年度の目標値
家庭系ごみ 1人1日あたりの排出量	550g
資源回収量	3,200t
事業系ごみの排出量	10,200t
リサイクル率	13.2%

一般廃棄物

家庭系ごみ

可燃ごみ

粗大ごみ

不燃ごみ

【資源ごみ】

びん・缶

ペットボトル

プラスチック製容器包装類

蛍光灯・乾電池等

金属・その他

資源回収

集団回収とごみ焼却施設等で実施した資源回収（拠点回収）

事業系ごみ

事業所から直接、または許可業者の収集運搬で市の施設へ搬入された可燃ごみ。（不燃ごみは産業廃棄物）

◎1人1日あたりの家庭系ごみの排出量

（家庭系ごみ－資源ごみ）÷鶴岡市の人口÷年間日数

◎リサイクル率

（リサイクルプラザで資源化した量＋資源回収量）÷ごみの総排出量

I. 令和6年度鶴岡市一般廃棄物の排出量等実績

《1》家庭系ごみの排出量

- ・令和6年度の家庭系ごみの排出量は、26,369 tで前年度より377 t減少となった。
(グラフ1)
- ・1人1日あたりの家庭系ごみの排出量は、569 gで前年度より2 g増加となった。
(グラフ2)

◎排出量は、減少傾向にある一方、1人1日あたりの家庭系ごみの排出量は、依然として国、県に比べ高い値となっており、可燃ごみの中に資源ごみとなるもの（古紙類・プラ容器・衣類等）を混ぜない、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の一層の推進が必要である。

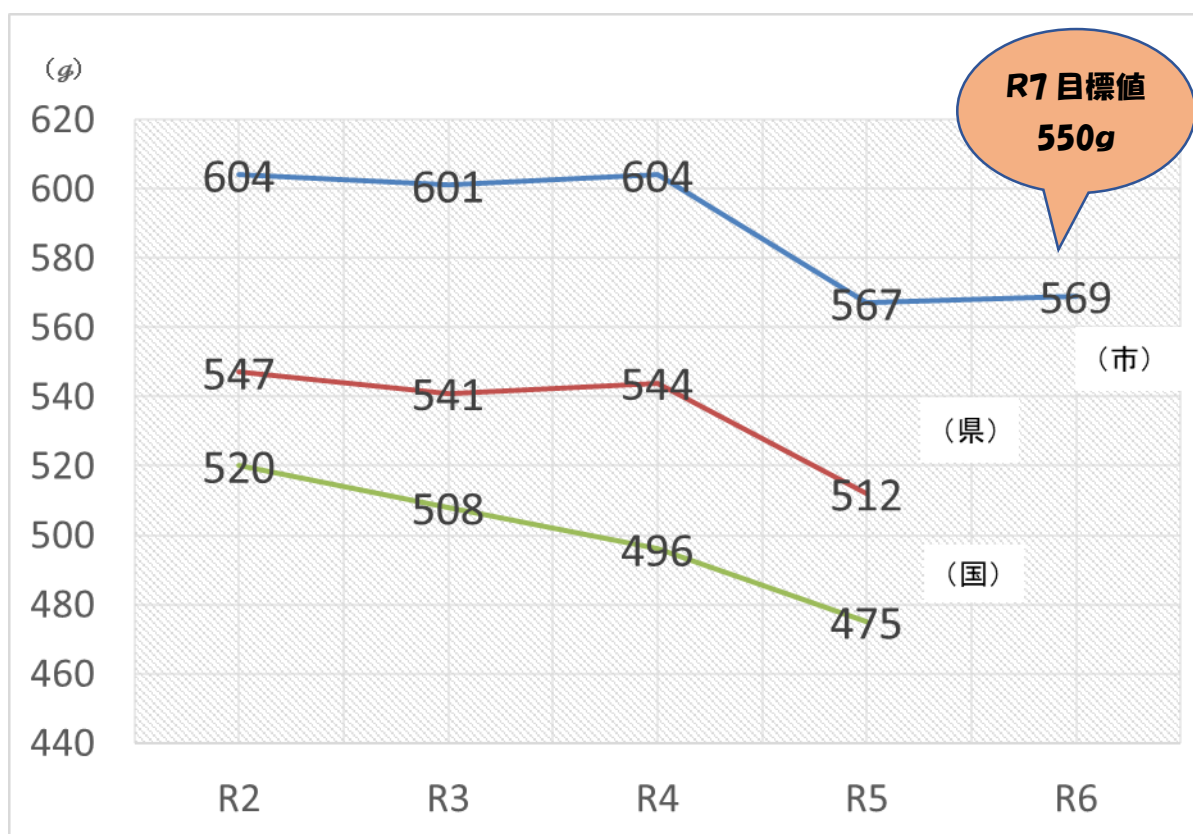
《2》資源回収量（集団回収量＋拠点回収量）

- ・令和6年度の資源回収量は2,249 tで前年度に比べ147 t減少した。（グラフ1）
- ◎少子化や電子書籍の普及などによる古紙類の減少、リサイクルルートの多様化などにより減少傾向にある。

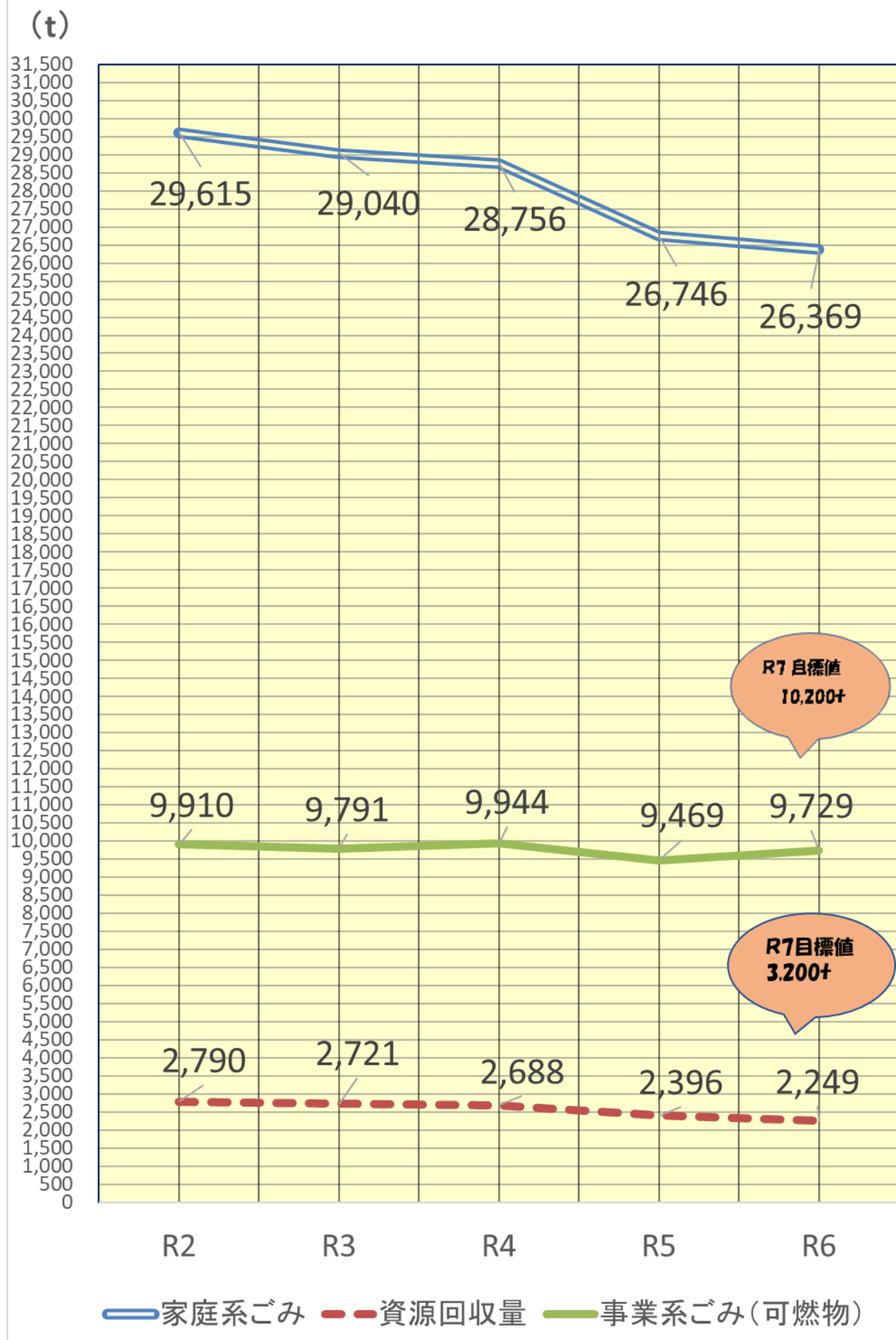
《3》事業系ごみの排出量

- ・令和6年度の事業系ごみの排出量は、9,729 tで前年度より260 t増加となった。
(グラフ1)
- ◎コロナ禍以降続いた減少傾向が増加に転じている。事業所での分別推進とあわせ、食べ残しや生ごみを減らすための3010運動など食品ロス削減推進も必要である。

(グラフ2) 1人1日あたりのごみの排出量の推移



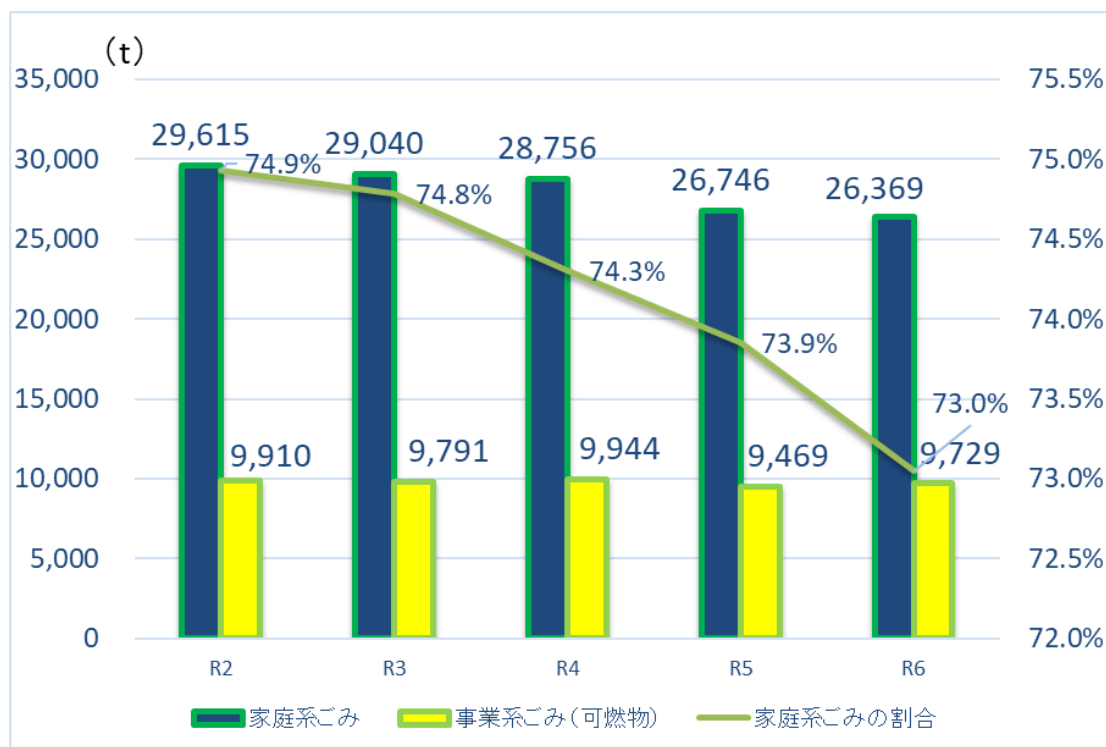
(グラフ1) 家庭系ごみの排出量・資源回収量・事業系ごみの排出量



《4》家庭系ごみ・事業系ごみの排出量の比較

- ・家庭系ごみの割合は、ごみ全体の約4分の3を占めている。
- ・家庭系ごみは、事業系ごみの約2.7倍の量となっている。（グラフ3）

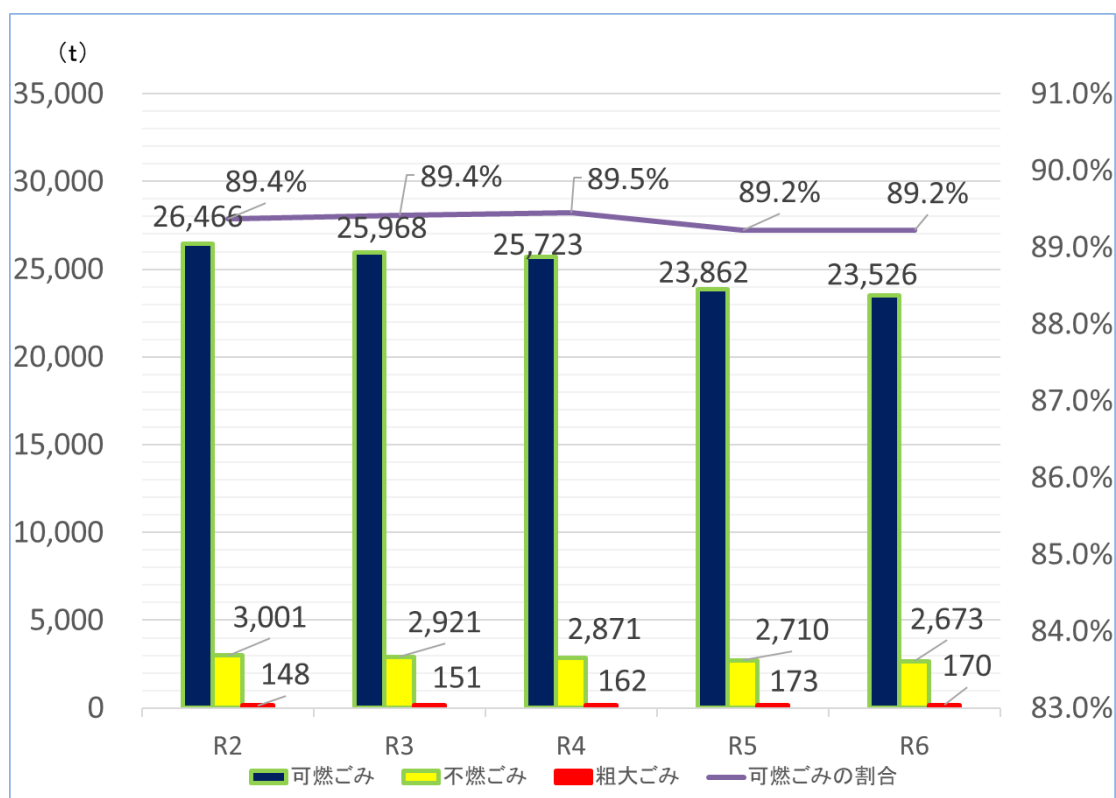
（グラフ3）家庭系ごみ・事業系ごみの排出量の比較



《5》家庭系ごみの中の可燃物と不燃物の割合

- ・家庭系ごみの中では、可燃ごみの割合が約9割を占めている。（グラフ4）

（グラフ4）家庭系ごみの中の可燃物不燃物の割合

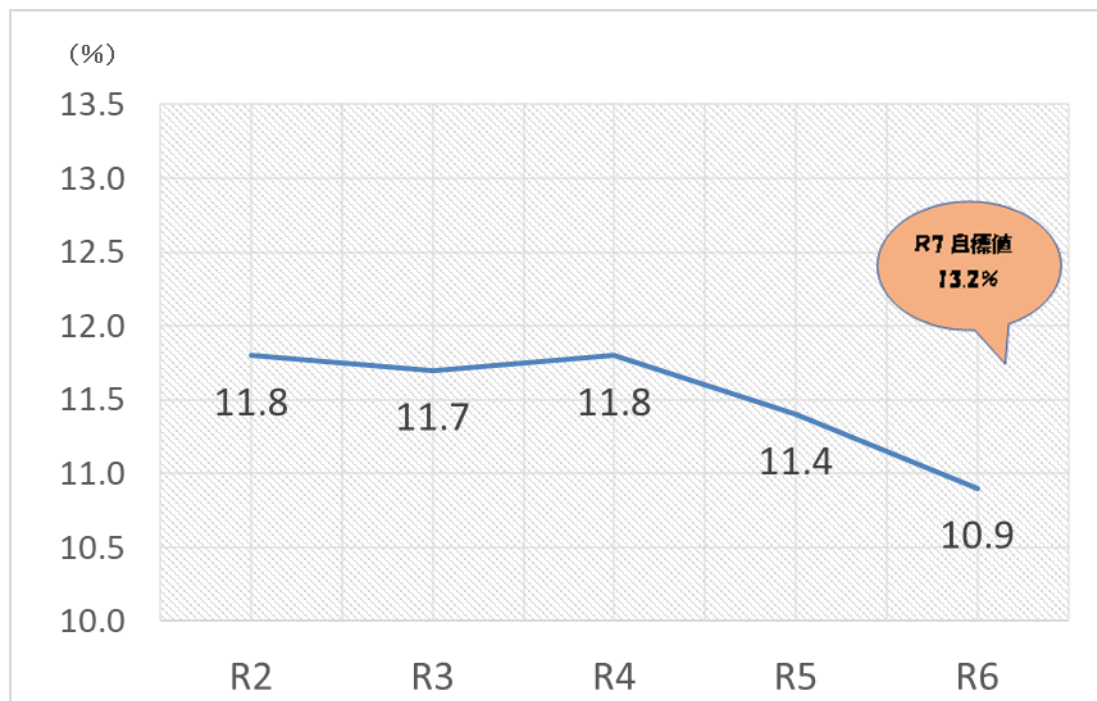


◎ごみの全体量は減少している。家庭系ごみが全体の約4分の3を占めている。その中でも可燃ごみが約9割占めており、可燃ごみを減少させることがごみ減量の鍵となる。可燃ごみ減量のターゲットを絞るための組成分析を今後も定期的の実施していく。

《6》リサイクル率

- ・令和6年度のリサイクル率は、10.9%で令和5年度より0.5ポイント減少している。
(グラフ5)

(グラフ5) リサイクル率の推移

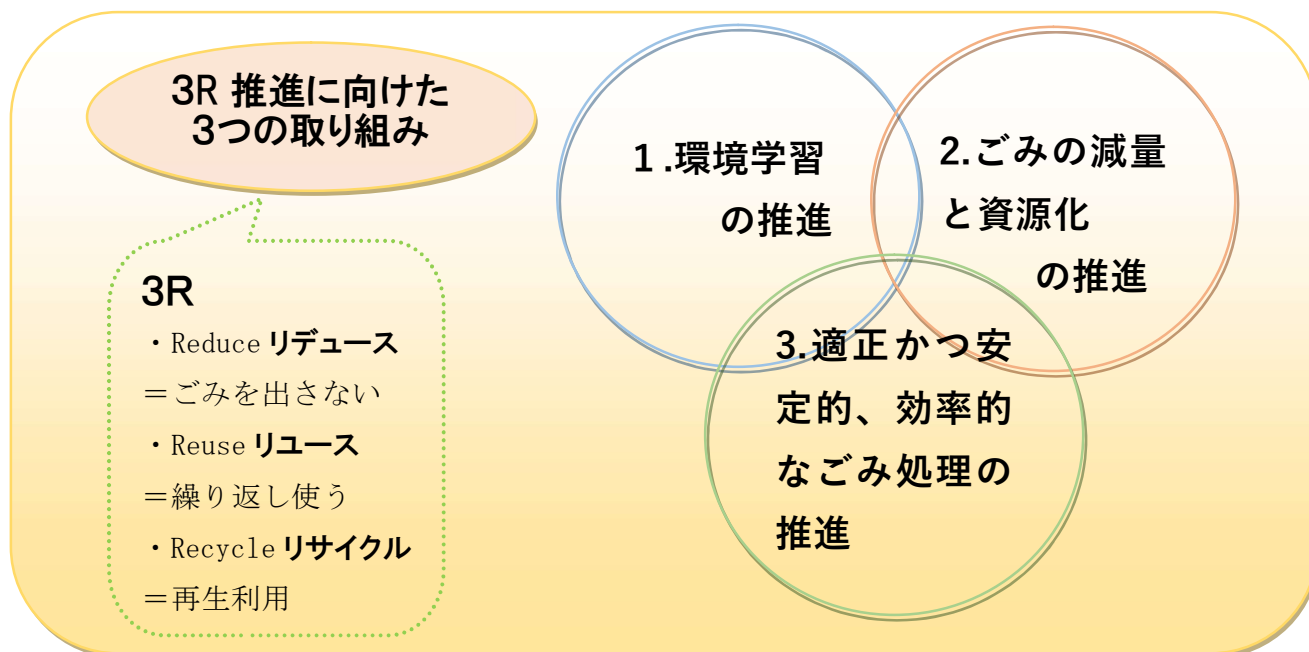


リサイクル率 = (リサイクルプラザにおける資源化の量 + 資源回収量 (集団回収 + 拠点回収)) ÷ ごみの総排出量

◎容器の軽量化、集団回収量の減少、リサイクルルートが多様化などにより、リサイクル率は微減傾向にある。分母となるごみの総排出量の減量を進めることが必要である。

Ⅱ. 3 R推進の主な取り組み

令和6年度一般廃棄物処理実施計画では、3 R推進に向けて3つの基本方針とそれに基づく施策を設定し事業を行った。（資料3）



1.環境学習の推進

《1》きめ細やかで効果的な情報発信

・市広報・エコ通信・市ホームページ・市SNSを活用した、ごみの減量・リサイクルの取り組み、3 Rの推進等の廃棄物行政に関する情報発信、市公式LINEによるごみ分別検索機能の提供を積極的に行った。

・YouTubeでごみ焼却施設やリサイクルプラザ、最終処分場のごみ処理の様子を動画配信するとともに、ショート動画「つるとぴ！鶴岡市役所60秒広報室」で、ごみの分別方法についての情報発信を行った。

登録者数

	R 6 . 7	R 7 . 7	備 考
LINE	38, 376人	42, 691人	うちごみ分別プッシュ通知登録数8, 715人
Facebook	2, 991人	3, 113人	
Twitter	5, 865人	6, 454人	

広報媒体	主な掲載内容	
市広報	4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・連休期間中のごみ収集 ・資源回収にご協力ください（集団回収、ごみ焼却施設での拠点回収） ・ごみ焼却施設「つるおかエコファイア」令和6年度のごみの受入日 【特集】 <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルプラザ「くるりん館」で学ぶ 私たちが出した資源ごみはどこへ行く？ ・4月にスタート！「ボトルtoボトル」ペットボトルの水平リサイクル！
	5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・5月と10月は不法投棄及び海岸漂着ごみ削減強化月間です ・クリーン作戦を実施しませんか ・鶴岡ごみゼロ大作戦
	6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・事業系ごみはごみステーションには出せません ・注射器・注射針はごみステーションには出せません ・廃棄物減量等推進審議会公募委員募集
	7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理3施設 夏休み見学会 【声】 生ごみの水切りについて
	8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・農薬・薬品をごみステーションに出さないでください ・ごみ処理施設を見学しませんか？ ・リサイクルプラザ休日見学会
	9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度ごみ収集カレンダー 有料広告を募集します ・環境フェア フードドライブにご協力ください
	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・10月は3R推進月間・食品ロス削減月間 ・リサイクルプラザ「くるりん館」ごみの出し方疑問解決!!講座 【チラシ】 不法投棄は犯罪です
	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年1月からスプレー缶等の分別が変わります ・リサイクルプラザ「くるりん館」子供用品リユースイベント
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを守り、ごみの出し忘れにご注意を ・年末年始のごみ収集 ・おいしく残さず食べ切ろう！食品ロス削減にご協力を
	1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・蛍光灯・乾電池等のごみの出し方に注意！ 【2024を振り返る】 庄内環境保全協同組合と災害時における仮設トイレ等の設置及びし尿等の収集運搬等の協力に関する協定を締結
	2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・家電4品目の処分方法 ・水銀柱の温度計・血圧計・体温計の捨て方
	3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・引っ越し時のごみの処分は計画的に！
エコ通信	夏号 (6月)	<ul style="list-style-type: none"> ・『ごみの分け出しガイドブック』を新しくしたので配布します
	秋号 (9月)	<ul style="list-style-type: none"> ・もやすごみのサンプル調査 ・食欲の秋 食品ロスをなくそう！

《2》リサイクルプラザの活用

・夏休み親子リサイクル体験教室、リサイクルプラザ休日見学会やクラフト教室を実施し、施設見学を通じてごみの減量や分別の理解、3Rの啓発に努めた。

リサイクルプラザ見学者数（団体：小学校を除く）

年度	団 体		個 人	合計
	団体数	見学者数	見学者数	
R4	3 団体	45 人	40 人	85 人
R5	24 団体	372 人	88 人	460 人
R6	24 団体	370 人	26 人	396 人

《3》ごみ焼却施設の活用

- ・ごみ焼却施設の見学ホールを活用した施設紹介、環境学習の推進に取り組んだ。
- ・市民の見学機会を拡大するため祝日等も見学できる日を設けている。

ごみ焼却施設の見学者数（団体：小学校を除く）

年度	団 体		個 人	合計
	団体数	見学者数	見学者数	
R4	56 団体	871 人	35 人	906 人
R5	36 団体	650 人	134 人	784 人
R6	21 団体	407 人	117 人	524 人

《4》学童期からの環境教育

- ・教育委員会と連携し、小学4年生を対象に施設見学を通じて、環境教育に取り組んだ。

ごみ焼却施設小学生見学者数

年度	校数	人数
R4	35 校	926 人
R5	33 校	1,061 人
R6	32 校	1,020 人

リサイクルプラザ小学生見学者数

年度	校数	人数
R4	34 校	889 人
R5	29 校	751 人
R6	28 校	795 人

最終処分場小学生見学者数（大荒最終処分場）

年度	校数	人数
R4	5 校	144 人
R5	7 校	330 人
R6	7 校	365 人

ペットボトル水平リサイクルに関する出前授業

年度	校数	人数
R6	1 校	9 人

※「ボトル to ボトル」水平リサイクル連携協定に基づき実施（サントリーグループ）

《5》草の根の推進活動

- ・各町内会や市民団体に出向き「ごみ分別出前講座」を実施した。

ごみ分別出前講座及び展示回数

年度	実施回数	参加者数	備考（展示会場）
R4	23 回	427 名	2 会場
R5	39 回	762 名	1 会場
R6	50 回	777 名	1 会場

※R 6 年度の展示：9 月環境フェアつるおか

ごみ分別説明会の様子 ✨
正しい分別でごみ減量！！



《6》組織活動

- ・鶴岡市環境保全推進員研修会を開催した。
開催日：令和6年7月30日（火）
会 場：鶴岡市中央公民館「市民ホール」（各庁舎オンライン参加）
参加者：参加者 188名（会場参加81名、オンライン参加107名）

2.ごみの減量と資源化の推進

《1》ごみ減量・リサイクルの広報等による周知

- ・市広報・エコ通信・市ホームページ・市SNSを活用して、ごみの減量・リサイクルの取り組み、3Rの推進等の廃棄物行政に関する情報発信を積極的に行った。

⇒ 1.環境学習の推進 《1》きめ細やかで効果的な情報発信

《2》ごみの資源化の推進

・町内会、自治会等の協力を得て、早朝のごみ出しの時間に合わせて、ごみステーションにおいて、ごみ分別等の指導(立哨指導)を行った。

立哨指導回数

年度	実施回数	ステーション数	町内会協力者
R4	2 件	4 か所	7 名
R5	4 件	8 か所	16 名
R6	4 件	6 か所	6 名

《3》資源回収運動の推進

・リユース・リサイクルを推進するため、古着・古紙・小型家電等の拠点回収を毎月第3日曜日にごみ焼却施設で実施。令和6年度の拠点回収による資源の総回収量は84,538kgで6,610kg増加した。

拠点回収による資源回収量(ごみ焼却施設)

年度	古紙類	小型家電	古着	総回収量(kg)
R4	77,100	3,290	10,900	91,290
R5	68,138	2,510	7,280	77,928
R6	71,138	3,850	9,550	84,538

《4》もやすごみの休日受け入れ

・市民の要望が多い休日のごみの受け入れについて、ごみ焼却施設での毎月第2土曜日と一部祝日等の受け入れを実施。同日に古紙類の回収を実施。

3.適正かつ安定的、効率的なごみ処理の推進

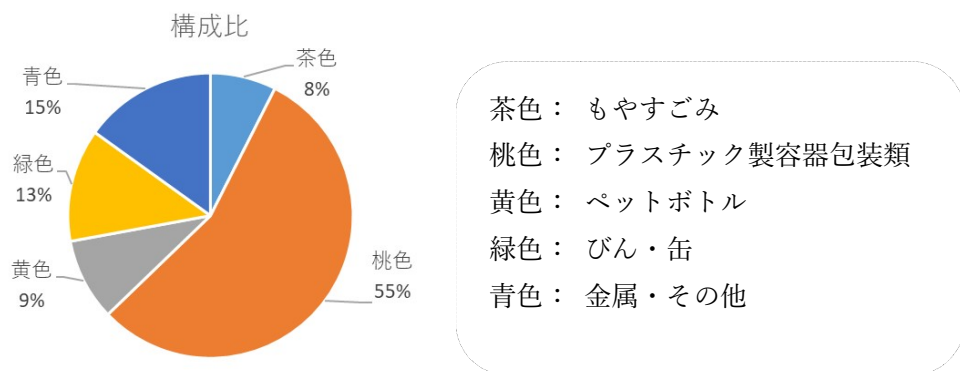
《1》ごみステーションの維持管理

・各町内会や、環境保全推進員と協力して適正なごみステーションの設置と維持管理を推進した。(R6ごみステーション数:2,527箇所)

《2》適正排出の推進

・ごみステーションに出された分別違いごみについて、再確認シールを貼りステーションに留め置きし啓発を図った。桃袋、青袋、緑袋の留め置きが多く、今後もごみ分別説明会や立哨指導、広報等で啓発する必要がある。

年度	茶色	桃色	黄色	緑色	青色	計
R4	2,630	26,349	5,037	9,304	9,302	52,622
R5	3,450	24,230	4,214	6,164	6,336	44,394
R6	2,979	22,081	3,718	5,111	6,015	39,904
構成比	7.5%	55.3%	9.3%	12.8%	15.1%	100.0%



《3》高齢化等への対応

・ごみ出し困難世帯のごみ出しを支援するため、ごみ出し支援を始める団体へ補助する制度と支援に必要なごみステーションの新設・改修等に要する費用を補助する制度を令和4年度に創設し、令和6年度は、4件の補助金交付を行った。

《4》再生可能エネルギーの導入と地産地消

・ごみ焼却で発生する熱エネルギーを発電と消雪等に利用し、施設で使用する電力をまかなうほか余剰電力を売電した。

・また、自家用消費に含まれる環境価値を「グリーン電力証書」として売却し収入を得ているほか、(株)やまがた新電力に売却する電力（非FIT）が有する非化石価値（化石燃料によらない電気の環境価値）を証書化して、(株)やまがた新電力が電力供給している小中学校等の鶴岡市の施設に非化石化証書付き電力を供給して「電力の地産地消」を行っている。

年度	発電量 (kwh)	売電量 (kwh)			グリーン電力証書売却収入
		FIT	非FIT	合計	
R6	19,192,600	7,177,247	5,120,270	12,297,517	2,876 千円
		134,214 千円	85,605 千円	219,819 千円	

《5》環境保全の推進

- ・クリーン作戦や市一斉清掃へのボランティア参加を通じて環境意識の高揚が図られた。
- ・不法投棄の現場を確認し、土地所有者に連絡するとともに、再発防止のため看板設置等を実施した。

クリーン作戦

年度	実施 団体数	参加人数	収 集 量		
			可燃物	不燃物	計
R4	266団体	13,130人	33.8 t	1.9 t	35.7 t
R5	228団体	15,130人	37.6 t	1.8 t	39.4 t
R6	228団体	14,576人	27.5 t	1.7 t	29.2 t

市一斉清掃

年度	参加人数	収 集 量		
		可燃物	不燃物	計
R4	7,586人	11.0 t	1.0 t	12.0 t
R5	7,098人	7.5 t	1.1 t	8.6 t
R6	7,186人	7.5 t	1.3 t	8.8 t

不法投棄

年度	確認件数		
	公有地	民有地	計
R4	62件	13件	75件
R5	67件	19件	86件
R6	72件	14件	86件



赤川河川敷
不法投棄現場

(2) 令和7年度一般廃棄物行政の事業執行について

《1》ごみゼロ（530）大作戦

5月30日のごみゼロの日に合わせ、世界的に問題となっている海に流出するごみの8割が陸（街）由来とされている海洋プラスチックごみ問題について着目し、鶴岡市海岸2か所でクリーン作戦を行い、実態の把握と海洋ごみの周知啓発を図った。

場 所：由良海岸・マリンパークねずがせき

参加者：329名（由良海水浴場 266名、マリンパークねずがせき 63名）
豊浦小学校（4～6年生）52名、湯野浜小学校（5年生）12名
櫛引西小学校（4年生）30名、大泉小学校（4年生）24名
鼠ヶ関小学校（全学年）60名、
一般ボランティア 133名（由良自治会、鼠ヶ関自治会、ゆらまちつく戦略会議
つるおかSDGs推進パートナー 24企業・団体）、市県関係職員 18名

協 力：美しいやまがたの海プラットフォーム

回収量：233kg（由良海水浴 163kg、マリンパークねずがせき 70kg）



海ごみ回収作業の様子



海ごみに関する学習の様子

*** 参加者の感想 ***

- ・初めて参加したが、ごみ拾いが楽しくてあっという間に時間が過ぎた。
- ・初めての参加ですが、プラスチック製のごみが多く驚いた。
- ・細かくなったプラスチックは、拾うのが非常に大変。
- ・生き物がこういったごみで死んでしまうのは悲しい。
- ・裸足で歩くことが出来る海岸を目指していきたい。
- ・砂浜がきれいになってとても気持ちいいと感じた。
- ・大規模なイベントであることにまず驚きました。海ごみをはじめ環境問題に対する意識の高い人たちが多く参加しており、触発されました。

《2》ペットボトルリサイクル（教室（図書館リレー企画）

・ペットボトル水平リサイクル（ボトルtoボトル）に関する「親子で学べる！ペットボトルリサイクル教室」を市、教育委員会が主催する図書館リレー企画として、連携協定先のサントリーホールディングス㈱を講師に実施。

実施日：令和7年6月29日（日）

参加者：親子13組33名

会 場：鶴岡市図書館2階講座室

《3》ごみ処理3施設 夏休み見学会

・ごみ焼却施設とリサイクルプラザ、一般廃棄物最終処分場（大荒）を巡るごみ処理3施設夏休み見学会を実施した。

実施日：令和7年8月5日（火）

参加者：20名

見学施設：ごみ焼却施設・リサイクルプラザ・一般廃棄物最終処分場



ごみ焼却施設・リサイクルプラザ見学の様子

《4》リサイクルプラザ整備方針検討

・供用開始から20年が経過しているリサイクルプラザについて、大規模改修や新設などの選択肢を抽出し、整備方針の方向性を検討する。

《5》主な施設整備工事

・鶴岡市ごみ焼却施設案内標識設置工事（R6 繰越事業）

工事費：1,628 千円 工期：令和7年3月21日～令和7年6月30日

(3) 次期一般廃棄物処理基本計画の(骨子案)について

市は一般廃棄物の処理について総括的な責任を有しており、市民、事業者、行政の協働のもと、ごみの減量化やリサイクルの推進、ごみの適正処理などの取組を推進するため、次期計画(令和8～17年度)を策定します。

1. 計 画 名 鶴岡市一般廃棄物処理基本計画

2. 計画期間

- 現行計画：平成28年度～令和7年度(10年間：令和2年度に中間見直しを実施)
- 次期計画：令和8年度～令和17年度(10年間)

3. 現計画からの変更点 …別紙1 「一般廃棄物処理基本計画骨子(案)」のとおり

(1) 基本方針 … 第2次鶴岡市総合計画に合わせて3つ → 4つへ見直す

現計画 (H28～R7)	次期計画 (R8～R17)
1.環境学習の推進	1.ごみ減量・資源化(3R)の推進
2.ごみ減量・資源化の推進	2.環境負荷の少ない、適正かつ安定的なごみ処理の推進
3.適正かつ安定的、効率的なごみ処理の推進	3.環境美化の推進
	4.災害廃棄物処理体制の強化

(2) 目標値

現計画4項目 → 次期計画6項目へと変更

	項 目	現計画 R7 目標値	次期計画 R17 目標値	
1	1人一日当たりの家庭系ごみ排出量	550g	520g	継続
2	事業系ごみの排出量	10,200t	8,200t	継続
3	1人一日当たりの可燃ごみ排出量	—	745g	新規
4	もやすごみに占める食品ロスの割合	—	5%	新規
5	最終処分率	—	11%	新規
6	クリーン作戦の参加率	—	15%	新規
	集団回収量	3,200t	—	参考値
	資源化率	13.2%	—	参考値

(3)食品ロス削減推進計画【新設】

食品ロス削減推進法で計画策定が努力義務となったことから、同計画を内包する形で策定する。

(4)生活排水処理基本計画【新設】

一般廃棄物は、ごみと尿等から構成されるため、新たに尿と浄化槽汚泥の処理に関する計画を内包する形で策定する。

4. アンケート調査報告 …別紙2 「ごみの減量・リサイクルに関するアンケート調査結果」

5. 次期計画の策定スケジュール（経過を含む）

【 今後の予定 】

- R7.8.20 令和7年度第1回審議会 … 計画骨子の審議、アンケート結果報告
- R7.11 第2回審議会 … 計画本文素案の審議
- R8.2 第3回審議会 … 計画最終本文案の審議
- R8.3 議会（市民文教常任委員会）へ計画最終本文案の説明
パブリックコメント…計画最終本文案の公表
次期計画策定・公表…告示（HP 公開）

資料1

鶴岡市における一般廃棄物の排出量等実績及び目標値

(単位:t)

	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和7年度 目標値・(参考指標)
①家庭系ごみ =②+③+⑤	29,615	29,040	28,756	26,746	26,369	
②可燃ごみ	26,466	25,968	25,723	23,862	23,526	
③不燃ごみ	3,001	2,921	2,871	2,710	2,673	
(④うち資源ごみ)	2,185	2,173	2,135	2,037	2,020	
⑤粗大ごみ	148	151	163	173	170	
⑥資源回収量	2,790	2,721	2,688	2,396	2,249	3,200
⑦生活系ごみ =①+⑥	32,405	31,761	31,445	29,142	28,618	(25,790)
⑧事業系ごみ	9,910	9,791	9,944	9,469	9,729	10,200
⑨ごみ排出量 = ⑦+⑧	42,315	41,552	41,389	38,611	38,347	(39,191)
⑩家庭系ごみ(資源ごみを除く) =①-④	27,431	26,867	26,621	24,709	24,349	
⑪リサイクル率(%)	11.8	11.7	11.8	11.4	10.9	13.2
⑫家庭系ごみ(資源ごみを除く) 1人1日当り排出量(g)	604	601	604	567	569	550
⑬ごみ排出量 1人1日当り排出量(g)	932	929	939	886	897	(911)
⑭各年度9月末人口(人)	124,344	122,575	120,783	119,029	117,161	

※四捨五入の関係で合計が一致しない場合があります。

資源回収実績

			R4 年度	R5 年度	R6 年度
集 団 回 収	登 録 団 体 数		377	374	374
	実 施 回 数 (1 団体平均)		2,408 (6.4)	2,347 (6.3)	2,394 (6.4)
	回 収 量 (kg)	新 聞 紙	1,124,562	947,447	859,756
		雑 誌	616,028	564,792	521,849
		ダンボール	791,105	746,122	723,305
		飲料用パック	7,464	5,992	5,980
		雑 が み	12,867	13,630	15,833
		古 紙 類 計	2,552,025	2,277,983	2,126,723
		金 属 類	20,175	17,448	17,936
		び ん 類	(31,239本) 24,646	(29,101) 22,935	(25,550) 20,258
		重 量 計	2,596,846	2,318,366	2,164,917
	報 奨 金 (円)	実 施 団 体	11,605,912	10,358,234	7,941,584
		回 収 業 者	10,279,689	9,175,930	10,302,862
拠 点 回 収	回 収 量 (kg)	新 聞 紙	21,600	15,660	13,935
		雑 誌	29,230	26,220	35,165
		ダンボール	25,720	26,060	21,850
		飲料用パック	192	165	155
		雑 が み	358	33	33
		古 紙 類 計	77,100	68,138	71,138
		小 型 家 電	3,290	2,510	3,850
		古 着	10,900	7,280	9,550
		重 量 計	91,290	77,928	84,538
		重 量 合 計 (kg)	2,688,136	2,396,294	2,249,455